



Challenge Zero



## グリーンボンドを含むSDGs債の 推進による持続可能な資金循環

### (株)大和証券グループ本社

持続可能な社会の実現に向け、SDGsで示される様々な社会課題の解決のために、資金を活用する、「SDGsファイナンス」が、グローバルで注目を集めている。

日本におけるインパクト・インベストメント債券の第一人者である、大和証券グループは「SDGs債※の市場拡大」に向けて力を入れており、その取り組みを紹介する。

※調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券の総称。グリーンボンドやソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどを含む

#### SDGsの達成に向けた資金の調達

創業から119年の伝統を持つ大和証券グループは、社会情勢や地球環境など、世界が目まぐるしく変化する中であっても、創業以来変わらず「培ってきたもの」として「信頼の構築」「人材の重視」「社会への貢献」「健全な利益の確保」を企業理念に据え成長を続けている。近年、SDGsの達成に向け、公正で活力ある金融・資本市場を維持・発展させていくに加え、金融に社会的な視点を組み込むことで、持続可能な社会の実現に貢献していくと考え取り組んでいる。具体的には、環境負荷を低減する商品開発や、教育や福祉など社会課題解決に係るプロジェクトのための資金調達など、事業活動を通じたサポートである。

昨今、SDGsに資する新たな取り組みが活発化しているものの、SDGsを達成するための資金が不足するといわれている中、大和証券は公的機関や金融機関、事業会社が社会課題の解決を目的に発行する債券、いわゆるSDGs債の推進を通じ課題解決に効果的なプロジェクトが確実に遂行されるよう、持続的な資金循環を生む仕組みづくりを行っている。



大和証券グループ SDGs推進オリジナルロゴマーク

#### グリーンボンドを含むSDGs債への 投資機会の提供

大和証券グループは、日本におけるインパクト・インベストメント債券のパイオニアとして、SDGs債推進にも力を入れており、2018年9月には、国内事業会社として国内初となる個人投資家向けのグリーンボンド「商船三井ブルーオーシャン債」を販売した。前年度に東京都が発行した「東京グリーンボンド(外貨)」に続き、国内発行のグリーンボンドの引受・販売を通し、個人投資家の貴重な資金が環境対策へ活用される潮流を拡大させる一助となった。

また、2018年11月には大和証券グループ本社として初となるグリーンボンドを発行するなど、市場の活性化



再生可能エネルギー発電設備(イメージ)

化に向けた取り組みを拡大している。これにより調達される資金は、大和証券グループ各社を通じた再生可能エネルギー発電プロジェクトへの投融資資金およびグリーンビルディングに関わる設備資金に充当され、2020年6月末時点で推定4万236CO<sub>2</sub>tの二酸化炭素の排出量削減に貢献している。このように大和証券グループは、今後も金融・資本市場において新しい分野を切り拓くパイオニアであり続けるであろう。

(国内広報部主任研究員 塩入真理)